

第2期北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況一覧
(令和3年度の主な取組)

第2期北広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況一覧（令和3年度の主な取組）

基本目標 1	『希望』～子どもを産み育てたいと思えるまちをつくる～
--------	----------------------------

数値目標

指標	基準値	目標数値（R7）	実績（R3）	R3年度事業評価
年少人口の割合	11.2%	11%以上を維持	10.9%	出生数の減少などから、0.1%目標に届かなかった。 今後については、下記取組を継続的に実施し、目標達成を目指す。

(R4. 3. 31現在)

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和3年度における主な取組内容等	重要業績評価指標（KPI）			R3年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)	
				基準値	目標値	実績値 (R3)		
安心して妊娠、出産、子育てができる環境の充実	1-1 妊娠・出産支援	安心して妊娠・出産ができる環境を充実させるため、ニーズが高い産科等の誘致を進めるとともに、状況を踏まえた新たな視点での取組を検討する。	産科を誘致するため、HP等で支援内容等を周知。（産科誘致推進事業）	産科開設	0件	1件	0件	KPI未達成。 全国的な産科医不足や出生数の減少など、産科を取り巻く環境は非常に厳しいことから、産科の誘致には至っていない。 今後については、引き続き、大学等への情報提供を含めた制度の周知に取り組むとともに、状況を踏まえた新たな視点での取組を検討する。
		市内に産科がないことから、妊婦の負担を軽減するため、通院に要する費用の支援等を行う。	妊婦を対象に、通院に要する費用を支援（妊婦健康診査通院支援事業：234件）	出生数	267人	300人	231人	KPI未達成。 新型コロナウイルスの影響により出産への不安が高まっていることや、第1子出産年齢の高まりなどから、出生数は減少している。 引き続き、当該事業等を通じて、出生数の下支えをしていく。 なお、第1子出産年齢の高まりなどから不妊治療に係る助成については増加傾向にあるが、R4. 4以降に開始した特定不妊治療は、医療保険適応となるため、助成対象者がR4年度中にいなくなる見込み。
		子どもが欲しいけれどもなかなか授からない夫婦を対象に、不妊治療に要する費用の助成等を行う。	不妊治療に要する費用を助成（特定不妊治療助成事業：37件）					
	1-2 子育て支援	子育て世代一人ひとりに寄り添いながら各種相談や情報提供を行うとともに、保育の受け皿拡大や保育士確保に向けた就労支援の取組等、安心して子育てができる環境の充実を図る取組を推進する。	約1,700件の妊娠・出産・子育てに関する様々な相談に対応するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進。（子育て世代包括支援センター事業） また、保育人材の確保のため、市内の私立認可保育施設等に保育士等として勤務する方に「きたひろ手当」を支給。（保育士就労促進事業）	保育施設待機児童数 (国基準)	52人	0人	0人	KPI達成。 左記「きたひろ手当」の支給等により、保育人材を確保し、保育施設の定員数を維持できたため、KPIを達成。 今後についても、KPI達成に向け、事業を実施予定。
		ワークライフバランスの実現に向けたセミナー等の実施やテレワーク等の多様な働き方を導入する企業支援等を行う。	ワークライフバランスの実現に向け、ワーク・ライフ・バランスセミナーを実施。（男女共同参画推進事業：1回）	北広島市で子育てしたいと思う割合	95%	95%以上	95.2%	KPI達成。 左記のとおり各種相談や情報提供を継続的に行ってきたことを等々3通して、KPIを達成。 今後についても、KPI達成に向け、事業を実施予定。
		1-3 特色のある教育環境の推進	社会科副読本や夢ノート等を活用し、地域に根差した教育やキャリア教育、子どもの夢やチャレンジを応援する取組を進め、まちに愛着や誇りをもち、大志をいだき挑戦できる子を育む。	福祉読本と社会科副読本の改訂や夢ノート使用学年の拡大検討などを通じ、地域に根差した教育やキャリア教育を実施。 子どもの夢やチャレンジを応援する取組については、新型コロナウイルスの影響により中止。	将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	80%	90%	75.5%
置かれている環境により子どもの将来が左右されることがないよう、子どもたちが未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすための取組を推進する。	子どもたちが未来への希望を持ち、自立する力を伸ばすため、中学生の学習塾・習い事の費用の助成を実施。							
教育環境の充実	1-4 社会の変化や課題に対応した教育の推進	プロスポーツチーム等と連携した取組を推進するとともに、小中一貫教育やコミュニティ・スクール等の充実を図り、学校・家庭・地域が連携・協働して子どもたちの学びを支える。	小中一貫教育全国サミットや北広島市コミュニティ・スクール推進フォーラムの開催など、小中一貫教育やコミュニティ・スクール等の充実を図った。	市立学校のコミュニティ・スクール 全中学校区導入	-	全中学校区導入	6校区中 3校区 導入済	KPI未達成。（順調） 今後については、令和5年度からの全市拡大に向け、未導入の東部、西の里、広葉中学校区に準備検討委員会を立ち上げる検討を進める。
		英語発音力やコミュニケーション能力、国際理解力を高めるため、英語指導助手の活用等により外国語教育の充実を図る。	外国語指導助手7名を計画的に各小中学校の英語授業に派遣するなど、外国語教育の充実を図った。（外国語指導助手活用事業）	CEFR（セファール）A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる市立中学校3年生の割合	40.1%	50%	56.3%	KPI達成。 外国語教育の充実を図ったことなどから、KPIを達成。 今後についても、引き続き、外国語指導助手の活用等による外国語教育の充実を図る。
		学校ICT機器や環境を整備し、学びの質の向上や校務の効率化を進める。	小学校学習者用コンピュータ(1,420台)の整備を実施するなど、学びの質の向上や校務の効率化を推進。（学校ICT環境整備事業）					

基本目標2 『交流』～北広島市への新しい人の流れをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R3)	R3年度事業評価
社会動態	22人	基準値以上	91人	目標達成。 平成28年度より社会増に転じており、目標を大幅に上回っている状況。

(R4. 3. 31現在)

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和3年度における主な取組内容等	重要業績評価指標 (KPI)			R3年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)	
				基準値	目標値	実績値 (R3)		
移住・定住促進	2-1 移住・定住促進 に向けた支援	移住・定住者数を増やすためには、居住物件（土地・建物）や就業場所の確保、公共交通の充実による通勤・通学などの利便性向上が重要となることから、雇用創出や公共交通の取組と併せて、空き地・空き家等の有効活用されていない土地や建物の流動化の促進等を推進する。	空き家解体費用の一部助成や、中古住宅を購入した者に対するリフォーム費用の一部を補助などを通じ、空き地・空き家等の有効活用されていない土地や建物の流動化の促進等を推進。（空き家流動化促進事業：19件）	空き家戸数	315件	315件より減少	297	KPI達成。 空き家等解体補助金については、毎年度早い段階で予定件数(予算額)に達している状況である。引き続き、空き家等の有効活用されていない土地や建物の流動化の促進等を行なっていく。
		移住定住の促進に向け、UIJターンへの移住支援や移住相談会等の実施のほか、移住に係る情報発信を行う。	移住フェアのオンライン参加や、UIJターンへの移住支援（1件）などを通じ、移住定住の促進を図った。	移住相談会での相談件数	42件	200件 (累計)	1件	KPI未達成。 新型コロナウイルス感染症の影響により、相談会がオンラインでの実施となったため、相談件数が大幅に減少した。 今後については、新型コロナウイルスの状況を注視しながら、移住相談会に参加する等、移住を意識している方の相談機会を少しでも確保できるよう努める。
交流人口・関係人口の 創出・拡大	2-2 地域の特色を生かした観光推進	市民や観光関係団体、商業事業者や近隣市町村等との広域的な連携を図り、イベントの開催、観光PR、webサイト・パンフレット等による情報発信等を行う。	さっぽろ連携中枢都市圏等に参画するなど、広域的な連携を図り、モニターツアーの開催及びサイクル冊子へ記事掲載など、情報発信を行った。	観光入込客数	123万人	270万人	90万人	KPI未達成。 新型コロナウイルス感染症の影響による各種イベントの中止などから、観光入込客数は大幅に減少した。 今後については、屋外で密にならないサイクルツーリズムの機運は高まりつつあることを踏まえ、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、受け入れ態勢を整える。
		エルフィンロード等の地域資源を活用したツーリズムやイベントを実施するほか、旧島松駅通所の整備や観光案内所など受け入れ環境等の整備を進める。	新型コロナウイルス感染症の影響によりロードレースは中止。（きたひろしま30kmロードレース連携事業） 旧島松駅通所については、主屋耐震補強・保存修理工事に向けた耐震診断調査の実施や、今後の史跡の適切な保存と活用方法を定めた保存活用計画、及び整備計画を策定。					
	2-3 関係人口の創出・拡大	ふるさと納税の返礼品を通して、全国へまちの魅力を発信し、ボールパーク等の新たな資源を生かした体験型返礼品の充実を図る。	ふるさと納税の返礼品を通して、全国へまちの魅力を発信（111品目、申込：14,053件、寄附額：227,743千円） また、ボールパーク開業に向け、新たな資源を生かした体験型返礼品の充実の検討を実施。	ふるさと納税の寄附件数	7,015件	150,000件 (累計)	14,053件	KPI未達成。 ふるさと納税については、返礼品の充実を図ったことなどから、件数自体は倍増。 今後については、2023年3月にボールパークが開業することを踏まえ、これまで以上にKPI達成に向け、体験型返礼品の充実を図る。
		企業版ふるさと納税をきっかけとした企業との繋がりを大切に、民間企業のノウハウを生かした地域課題解決の取組を検討する。	シティセールスやボールパークによる市の知名度向上等などを通じて、企業版ふるさと納税を活用する企業の受付を行った。	企業版ふるさと納税の寄附件数	1件	30件 (累計)	10件	KPI未達成。（順調） シティセールスやボールパークによる市の知名度向上等の結果、1年でKPIの1/3に上る件数となった。 今後についても、情報発信等を通じてより多くの企業が企業版ふるさと納税を活用するよう働きかけるとともに、寄附をいただいた企業と民間企業のノウハウを生かした地域課題解決の取組を検討する。
		東京北広島会の活動を推進し、市内に居住していなくてもまちづくりの担い手となる人材の確保を図る。	市職員と会員との意見交換の場の設置や、会員の専門知識を活かした市の課題解決プロジェクトへの参加などを通じて、東京北広島会の活動を推進し、市内に居住していなくてもまちづくりの担い手となる人材の確保を図った。	東京北広島会会員と連携した取組の実施件数	-	5件 (累計)	2件	KPI未達成。（順調） 会員の専門知識等を市行政へ活かすことなどを目的に、市の状況報告や意見交換等を実施する交流会や、市職員とのワークショップといった取組を積極的に実施した。 今後についても引き続き、首都圏との幅広い人脈やネットワークを活用した取組を検討、実施する。
	まちの魅力発信	2-4 シティセールスの推進	関係団体等との連携を図るとともに、ラジオ、webサイト、SNS等を活用し、国内外に向けたシティセールスを推進する。	NPO法人との連携を図り動画作成等を実施し、SNSでの発信を強化するなど、国内外に向けたシティセールスを推進。	本市を応援している人数	8,994人	45,000人	19,440人
本市が持つ地域資源や特徴、ボールパーク構想がもたらす価値や魅力などを生かしたまちのPRを推進する。			ボールパーク開業に向けて、メディアに取り上げられる機会が増加するなど、新たな資源を生かしたPRを推進。					

基本目標 3

『成長』～持続可能で住みやすい魅力的なまちをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R3)	R3年度事業評価
北広島市を住みよいと感じる市民満足度	75.4%	80%	未集計	未集計のため検証不可。(R5に集計予定)

(R4.3.31現在)

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和3年度における主な取組内容等	重要業績評価指標 (KPI)			R3年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)	
				基準値	目標値	実績値 (R3)		
魅力あるまちづくり	3-1 駅及び駅周辺の 魅力向上	JR北広島駅とJR新駅及び、その周辺の環境整備を進めるとともに、駅西口周辺エリア活性化計画に基づき、未利用市有地等の一体的な土地利用について、官民協働で取組を進める。	4月に駅西口周辺エリア活性化整備計画を策定し、その整備計画に基づき、11月に市有地A 個別事業計画を策定、工事に着手するなど、官民協働による整備を進めた。(駅西口周辺エリア活性化事業) JR新駅については、整備に向けた調査設計を実施。(JR新駅整備推進事業)	都市機能誘導区域における誘導施設の開設数	-	1件以上	0件	KPI未達成。 誘導施設(子育て支援施設)については、令和7年度の竣工を目指し、具体的な整備内容について協議中。 なお、誘導施設に位置付けてはいるが「住みよいと感じる市民満足度」に直接影響を与える可能性のある駅西口の整備については、商業、ホテル、広場、ボールパークへのアクセスなどの機能について、令和6年度までに順次整備する予定。
		駅周辺を魅力あるエリアとして育み、継続的かつ恒常的なにぎわいのある地域づくりを行うため、官民連携のエリアマネジメントについて検討する。	エリアマネジメントについては、駅西口のハード整備に係る進捗を踏まえ、令和4年度以降に、検討を開始する予定。					
魅力あるまちづくり	3-2 ボールパーク構 想とスポーツに よるまちづくり の推進	ボールパーク構想を推進するため、近隣市町村等との広域的な連携や官民連携によるイベントの開催、情報発信等を行うとともに、市道や公園、周辺環境を整備する。	建設地見学会やボールパークガラスアートプロジェクト等のイベント開催や、Fビレッジ建設状況進捗報告会、広報紙の発行等による情報発信を行った。 また、市道の新設、拡幅や平和の灯公園の改修といった、市道及び公園の周辺環境整備も実施。	ボールパーク関連イベントの参加者数	-	1万人 (累計)	5,224人	KPI未達成。(順調) Fビレッジ建設の建設状況紹介について、学校授業の一環としての取組を進めたことで、より広い事業展開が可能となったため、1年でKPIの半分以上を達成。
		子どもから高齢者までスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会の提供を通じ、スポーツによる地域コミュニティの活性化に努めるとともに、競技スポーツの支援、指導者養成等を行う。	ウォーキングイベントやオンラインセミナー等、スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、地域コミュニティの活性化を図った。 ジュニアバレーボール講習会を実施による競技スポーツの支援や裾野拡大事業として札幌ドームでのダンチャレを実施。	「スポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会や環境の充実」の満足度	68.8%	70%	未集計	未集計のため検証不可。(R5に集計予定)
持続可能で住みやすい まちづくり	3-3 持続可能なまち づくりの推進	土地利用の見直しをはじめ、北広島団地地区の容積率の緩和等を進め、子育て世代の多世代住宅利用の促進を図るとともに、子育て世代に広い住生活空間を提供し、高齢者に利便性の高い住宅への住み替えを支援する。	子育て世代の多世代住宅利用の促進を図るため、北広島団地地区の容積率の緩和を検討。(市街地整備計画事業) また、高齢者の住み替え支援のため、セミナーを4回開催。(住み替え支援事業)	住み替え支援制度利用者数	-	750人 (累計)	41人	KPI未達成。 新型コロナウイルスの影響により、制度利用者数が伸び悩んだ。今後については、セミナーや相談会等の各種事業の実施により本市において住み替え支援に関する相談窓口があるという認識が深まってきていることから、継続的に取組を実施。
		バリアフリー法に基づき、公共施設や道路等の一体的なバリアフリー化に向けた取組を推進する。	バリアフリー法に基づく、JR北広島駅のバリアフリー工事に着手し、自動改札機の設置に支障となっていた市の備品庫や北広島福祉ショップ等を撤去。 市の備品庫等は、支障となる場所を避け、同様の場所に新設するための準備を実施。	移動円滑化促進方針等の策定	-	方針等の策定	未策定	KPI未達成。 令和5年度以降、方針等の検討を行う予定。
	共通する行政課題に対応するため、他市町村との広域的な連携・取組を進めるほか、市民サービスの向上を目的とした行政手続きのオンライン化等を推進する。	-	-	-	-	-	-	-
3-4 利便性の高い公 共交通の推進	公共交通の利用促進に向けたモビリティ・マネジメント等、日常生活における足の確保に向けた取組を推進する。	広報誌等による利用促進により、日常生活における足の確保に向けた取組を推進。(公共交通網形成計画推進事業)	市内線のバス利用者数	510.5千人	511千人	342千人	KPI未達成。 運転免許自主返納者に対するバス等助成券の配布を実施したが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響を受け、バス利用者が大きく減少しているところである。引き続き、利用促進の広報を行うとともに、バス時刻など利用実態に合った利便性の高いバス路線を目指していく。	
	ボールパークへのアクセス輸送やMaas(マース)等の先端技術を用いた新たな交通サービスについての検討を進める。	トヨタ及び北海道日本ハムファイターズと連携し、電動キックボード等の先端技術を用いた新たな交通サービスに係る社会必要性について調査研究を行った。	利便性の高い公共交通の充実の満足度	47.7%	70%	未集計	未集計のため検証不可。(R5に集計予定)	

基本目標 4

『挑戦』～創業と雇用を促進し、安心して働けるまちをつくる～

数値目標

指標	基準値	目標数値 (R7)	実績 (R3)	R3年度事業評価
市の産業・雇用の市民満足度	58.8%	70%	未集計	未集計のため検証不可。(R5に集計予定)

(R4.3.31現在)

施策に関する方向性	施策	施策・取組	令和3年度における主な取組内容等	重要業績評価指標 (KPI)			R3年度事業評価 (KPI達成状況、KPIを達成するための今後の取組等)		
				基準値	目標値	実績値 (R3)			
創業支援	4-1 新たな事業の創出・挑戦への支援	商工会等の関係機関と連携した創業支援体制により、創業希望者・創業者・支援機関の交流の機会を創出する創業フォーラムの開催やワンストップ相談窓口を設置し、創業促進を図る。	創業促進を図るため、北広島商工会等と連携した創業フォーラムの開催(2回)や、ワンストップ創業相談窓口の設置を実施。(創業促進支援事業)	創業支援制度利用者の創業件数	-	25件 (累計)	3件	KPI未達成。 新型コロナウイルスによる影響から、制度利用者の創業件数が伸び悩んだ。 今後については、創業者のもつ様々な課題に対応するため、創業に関する情報提供、相談対応、財政支援にトータル的に取り組み、支援を継続していく。	
		コミュニティビジネスの創業に対し、アドバイザーの設置による相談体制の充実を図るとともに、創業時の一時的な経費負担を支援する。	個別相談などコミュニティビジネス創業アドバイザーによる相談体制の充実を図るとともに、創業時の経費の一部について助成を行った。(創業促進支援事業)						
		農泊や農家レストランの経営、農産物直売所など販売の多角化、6次産業化による農産物の高付加価値化の取組等を支援し、新たな事業や地場産品の創出を支援する。	セミナーや、6次産業化等推進協議会の開催を通じて、農産物の高付加価値化の取組等を支援するとともに、商品開発等に係る支援を行うことにより、新たな事業や地場産品の創出を支援。(六次産業化等支援事業)	6次産業化等に取り組む農業者	-	3事業者 (累計)	1事業者		KPI未達成。(順調) 6次産業化等に関するセミナーを通じて、農業者への発信力を向上することにより、KPIの3分の1を達成。 今後についても、セミナー等を開催し、農業者の取組を支援していく。
				新商品開発等	-	5件 (累計)	2件		KPI未達成。(順調) 六次産業化等支援事業補助金を活用し、農業者等による新商品開発が積極的に行われていることから、KPIの5分の2を達成。今後については、継続して補助を行い、商品開発等を支援していく。
雇用と就業環境の充実	4-2 雇用と就業環境の充実	ワーク・ライフ・バランスの実現に向けたセミナー等の実施やテレワーク等多様な働き方を導入する企業支援等を行う。	ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、セミナー(1回)を実施。	ワーク・ライフ・バランス推進支援企業数	-	5件 (累計)	0件	KPI未達成。 ワーク・ライフ・バランスの推進に興味を示す企業もあったが、支援には至らなかった。今後についても、ワーク・ライフ・バランスセミナー等を通して、継続して取組を行なっていく。	
		ボールパーク開業に伴う雇用の場の創出が市内全体に効果が波及するよう取り組む。	ボールパーク開業に向け、情報収集につとめた。						
		若年層の離職状況を把握し、離職防止に向けた取組や外国人労働者の就業状況等の把握を図り、就業環境の整備等に関する支援についても検討する。	ジョブガイド北広島に来所した方にアンケートを実施し、離職状況の把握を行った。 外国人を雇用している市内企業を対象に外国人雇用状況調査を実施し、雇用状況や雇用における課題など、実態把握を行った。 また、市内企業向けに外国人雇用セミナー・相談会を実施し、外国人雇用機会の創出を図った。(多文化共生推進事業)	安定した雇用の場の確保の満足度	52.3%	70%	未集計	未集計のため検証不可。(R5に集計予定)	
		事業承継に係る市内事業者の実態を把握するとともに、相談窓口や専門家派遣の活用による事業承継により雇用継続が図られるよう支援する。	北広島市商工業実態調査において、事業所における事業承継の意向や後継者候補について調査を行い、実態把握を行った。						
人材確保	4-3 人材確保・定着への支援	介護施設・障がい福祉施設・保育所等の人材確保に向け、就職支援や離職防止、就労継続に向けた支援を行う。	就労支援金助成を通して、新規就労者に対する就職支援を実施。	就業支援制度利用者による就労者数	-	400人 (累計)	84人	KPI未達成。 新型コロナウイルスの影響により、くらしサポーター研修の実施ができていないこと、福祉人材バンクの活用による就労実績がないこと等により、制度利用者による就労者数が伸び悩んだ。	